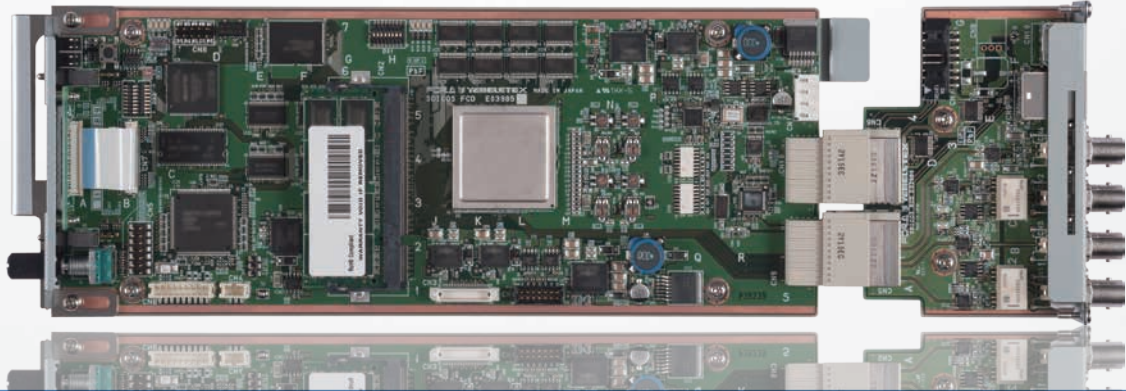


ショック無し。 TS回線の信頼性を高める。



UFM-80TSCS 2 x 1 TS Changeover Switcher TSチェンジオーバースイッチャ (2入力)

UFMフレームに実装可能なモジュール形式のTSチェンジオーバースイッチャ。冗長回線上のTS信号を常に監視。異常発生時、出力を乱さずに速やかにもう一方へ切り替える、自動シームレス切り替えを実現。

同一のエンコーダから出力された2系統の冗長回線のTS信号に対して常にエラー監視を行い、異常発生時、シームレスにもう一方へ切り替えて出力する、TSオートマチックチェンジオーバースイッチャです。伝送経路上のエラーによるリスクに対して、伝送経路を二重化することにより信頼性を更に高めます。

複数のスイッチャを1台にまとめることにより、設置スペースを大幅に削減。

1台のUFMフレームに複数のモジュールを搭載可能なため、コンパクト化に成功。UF-106Bには最大で6枚(UF-106BPS使用時は最大で4枚)、UF-112には最大で12枚搭載。他種のモジュールも同時に搭載可能です。

特長

同一エンコーダ出力間のシームレス切り替え機能

モジュール1枚で、同一のエンコーダからの2分配出力間でシームレス切り替えが可能。映像/音声を乱さない完全シームレス切り替えに対応。

自動/手動切り替え

信号に異常が発生した場合、自動でもう一方へ切り替えます。手動切り替え、および各系に対して個別に自動/手動のアサインが可能です。例えば、現用から予備への切り替えが自動、予備から現用への切り替えが手動の設定が可能です。

遅延調整機能

出力を乱さないシームレスな切り替えを行うために、異経路間で発生した遅延差を速やかに吸収し、両入力の位相を自動で合わせます。遅延調整可能範囲は±500 msです。

GUI

専用GUIによる各信号入力状態の監視や本機の制御設定が可能。エラー内容や、切り替えイベントを時刻情報と共にCSVファイルとしてPCにログ保存します。

エラー検出

TR101 290だけでなく、伝送経路で発生するエラー内容を重要視し、シームレス切り替えの実現を最優先としたエラー検出を行います。SYNCエラー、CCエラー、パケットロス、NULLオンリーなど、信号品質に致命的なダメージを与えるエラーから信号を守ります。各エラー検出はそれぞれオン/オフ設定可能。PIDエラーの検出閾値は任意の時間に設定可能(1 msステップ)。マルチプログラム信号は4番組まで対応。

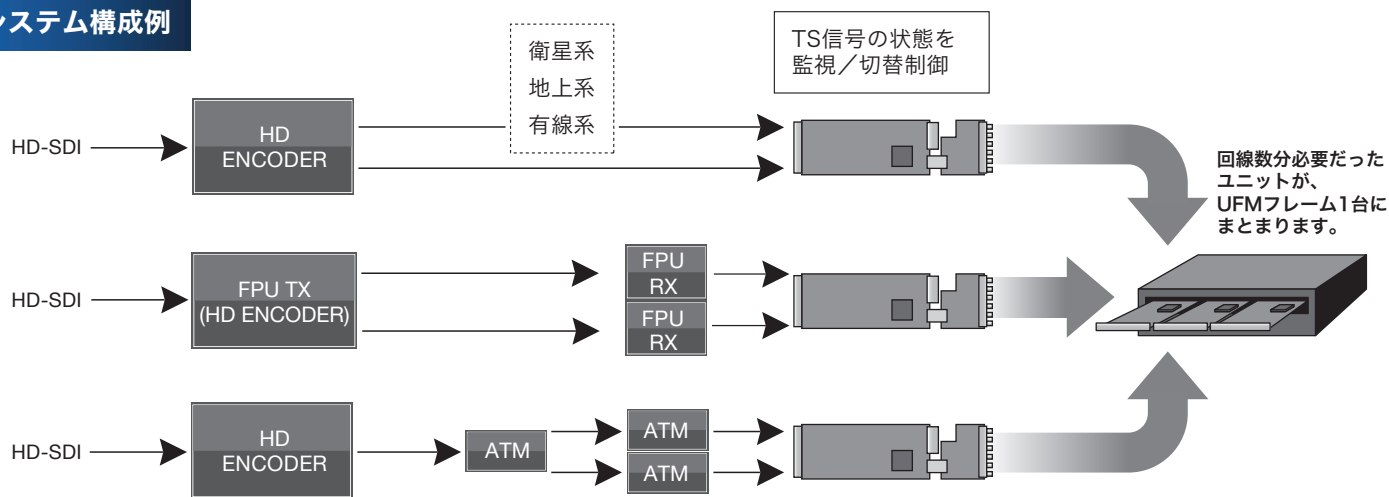
バイパススルー機能

電源オフ時はバイパススルー機能が作動し、INPUT1の入力信号をOUTPUT1へ出力します。

外部制御機能

GPIインターフェース(7ピン、36項目)、Ethernetをモジュールごとに搭載。運用形態に合わせた幅広い遠隔監視制御を可能にします。Ethernetでは専用GUIによる本体設定以外にエラー監視の表示、イベントログViewerの搭載、自動CSVファイル生成機能など、履歴が必要な信号管理の面でも活躍します。

システム構成例



外観図



仕様

入力信号	信号規格	DVB-ASI
	フォーマット	Data Packet方式 Burst方式 188 byte/204 byte
	実効ビットレート コネクタ	1 Mbps~160 Mbps 75Ω 不平衡 BNC x 2
出力信号	信号規格	DVB-ASI (EN50083-9)準拠
	フォーマット	Data Packet方式、パケットサイズはINPUT/188固定/204固定 設定式 (Burst方式での入力時は、Packet方式に変換されて出力)
	実効ビットレート コネクタ	1 Mbps~160 Mbps 75Ω 不平衡 BNC x 2 (電源オフ時、選択系入力信号をOUTPUT1にバイパス出力 (高周波リレー))
制御系	遅延調整範囲	入力信号の位相差が±500 ms以内
	システム遅延	標準50 ms (2 ms~1200 ms設定オフセット値による)
	エラー検出項目 (ON/OFF設定可能)	パケットロス (不正コードエラー含む)、SYNCバイト/ロスエラー、トランスポートエラー-インジケータ、CCエラー (第1~4PMT系列のみを対象)、PIDエラー (パケットアライバルエラー) (第1~4PMT系列のみを対象)、NULL ONLYエラー
	CCエラー詳細 (ON/OFF設定可能)	自動検出対象PID: PAT_CC、PMT_CC、VIDEO_CC、AUDIO1_CC、AUDIO2_CC、AAC AUDIO1_CC、AAC AUDIO2_CC、DATA1_CC、DATA2_CC、 USER_PID: USER1_PID_CC、USER2_PID_CC、USER3_PID_CC
外部制御	CONTROL GPI	GUIからプログラマブルアサインが可能 ・入力選択の制御・監視、各入力信号状況の監視、動作モードの制御、出力信号状況の監視等、7ポートそれぞれにIN/OUT合わせて36種類の項目を設定可能。 ・入力時：フォトカプラ (制御電流7 mA、ショート保持時間50 ms以上) ・出力時：オープンコレクタ (最大電圧40 V、最大電流100 mA)
その他	ETHERNET	10BASE-T/100BASE-TX ・専用GUIによる遠隔操作：信号状況の監視、本体設定、イベントログViewer、ログ用CSVファイル自動保存機能等 ・SNMP対応：本体制御および最大4箇所のIPアドレスエラー、イベントトラップを発報 ・メンテナンス用：遠隔からのファームウェアアップデート
	電源電圧・消費電力	UFMフレームより供給 DC+24 V・20 W
	外形寸法・質量	フロント：106 (W) x 293.2 (D) (mm) リア：108.5 (W) x 96.0 (D) x 20 (H) (mm)・約1 kg
	標準付属品	取扱説明書、専用GUIソフトウェア (CD-ROM)
	使用温度・湿度	0°C~40°C・湿度85%以下 (結露のないこと)

UF-106B UFMモジュラシリーズ用フレーム(6枚用)

- システムに合わせて最大 6 モジュール (基板) の実装が可能
- リダンダント電源 UF-106BPS を実装可能 (オプション)
(リダンダント電源装着時には、最大 4 モジュールまで搭載可能)
- 電源及びモジュールのホットスワップが可能
- フロント基板は前面から容易に交換可能、リア基板のケーブルを外すことなく作業が可能
- アラーム検出、ステータス表示を前面 LED にて表示可能、また、外部へのアラーム出力が可能
- ゲンロック入力としてループスルーを装備、入力されたリファレンス信号を全てのモジュールに分配
- 遠隔操作作用に制御用基板を用意 (オプション)



UF-112 UFMモジュラシリーズ用フレーム(12枚用)

- システムに合わせて最大 12 モジュール (基板) の実装が可能
- リダンダント電源 UF-112PS を実装可能 (オプション)
- 電源及びモジュールのホットスワップが可能
- フロント基板は前面から容易に交換可能、リア基板のケーブルを外すことなく作業が可能
- アラーム検出、ステータス表示を前面 LED にて表示、外部へのアラーム出力が可能
- ゲンロック入力としてループスルーコネクタを装備、入力された信号を全てのモジュールに分配可能
- 遠隔操作作用に制御用基板を用意 (オプション)



▲安全に関するご注意 ■本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項を必ずお読みください。

■このカタログの記載内容は 2015 年 9 月現在のものです。■仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

■本文中に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。1509NPC

株式会社 朋栄 YEM エレテックス

本社 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-8-1
大阪事業所 〒530-0055 大阪府大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル3F
佐倉事業所 〒285-8580 千葉県佐倉市大作2-3-3

TEL 03-3446-3497(代表)
TEL 06-6366-0022(代表)
TEL 043-498-1303

www.yemeletex.co.jp